

ソロハンターの生態 4

THE THIRD PART



ADULT ONLY

YOKOHAMA JUNKY



彼女は有能だった。

彼女に与えられたのは『調査任務』
辺境の地で異常な進化を遂げたギギネブラの生態を
観察し、分析し、報告する。

彼女にはあくびが出るほど退屈な任務だった。

若くしてギルドの最高位ハンターに名を連ねた彼女は
周囲を見下す傲慢さと、実力に裏付けされた自信を持っていた。

『退屈な任務に期待以上の成果を』

彼女は貪欲な野心家だった。

だが、まだ彼女は知らない
ギギネブラ達の危険な習性、そして敗北したハンター達の末路を。

ギギネブラの巣を探し彷徨う彼女は
無数のギギネブラを斬り捨て、洞窟の奥を目指していた。
斬り伏せても斬り伏せても次から次へと湧いてくるギギネブラの群れ。
疲労が彼女の体を蝕む。

一瞬の迷い

ほんの一瞬の判断の迷いが彼女に毒霧を吸い込ませてしまう。

それは事実上の敗北。

毒は瞬時に体に染み渡り、至高の幸福感が体を包む。

抵抗を忘れ、彼女は快樂の波に身を任せるしかなくなってしまふ。

ギギネブラの毒は麻薬

脳に強烈な快感を与え、思考を殺す。

獲物はただの従順な肉の塊となり、傷一つ無い新鮮で良質な餌となる。

彼女もまた、餌の悦びに震え

服従の涙を流し、歡喜の蜜を股から垂れ流した。

どんな強さも、どんな自信も

至高の快樂の前では無力だ。

もはや彼女は羨望を集める最高位のハンターではなく
されるがままに体を蹂躪され、悦びに浸るだけの惨めな一匹の牝だった。



精神を冒され、肉体を蹂躪され
終わらぬ絶頂地獄に屈し、意識を失った彼女は……







は…

う…あ……

は…

は…

……生きてる？
……どうなったんだ？
体が重い…手足の感覚が鈍い
…痺れているのか？
……ここはっ…ここはどこだ？

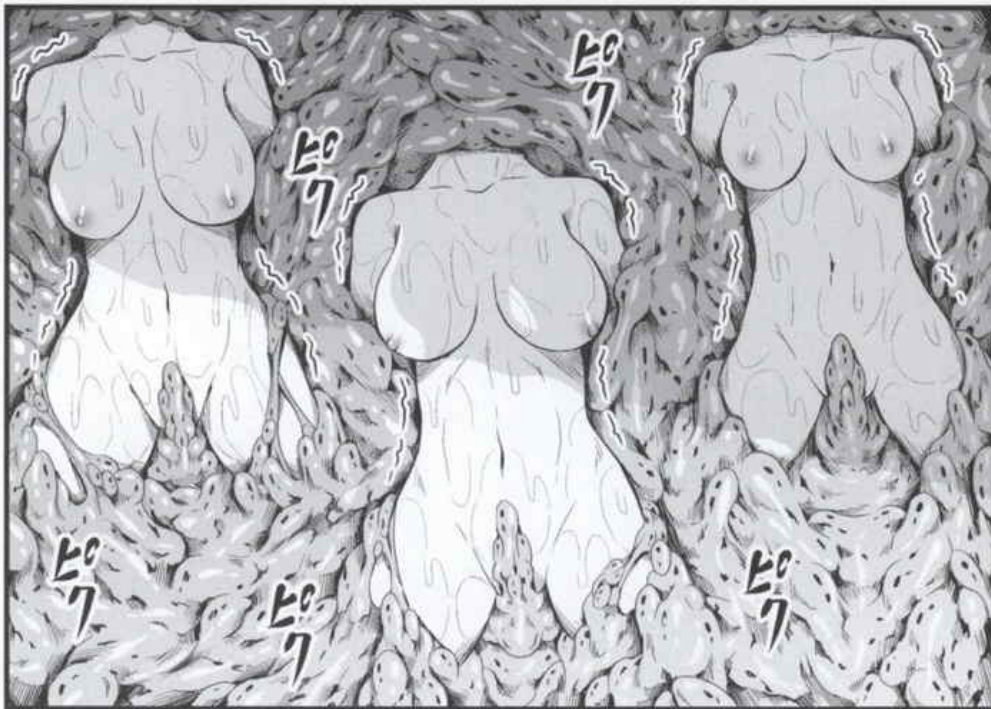
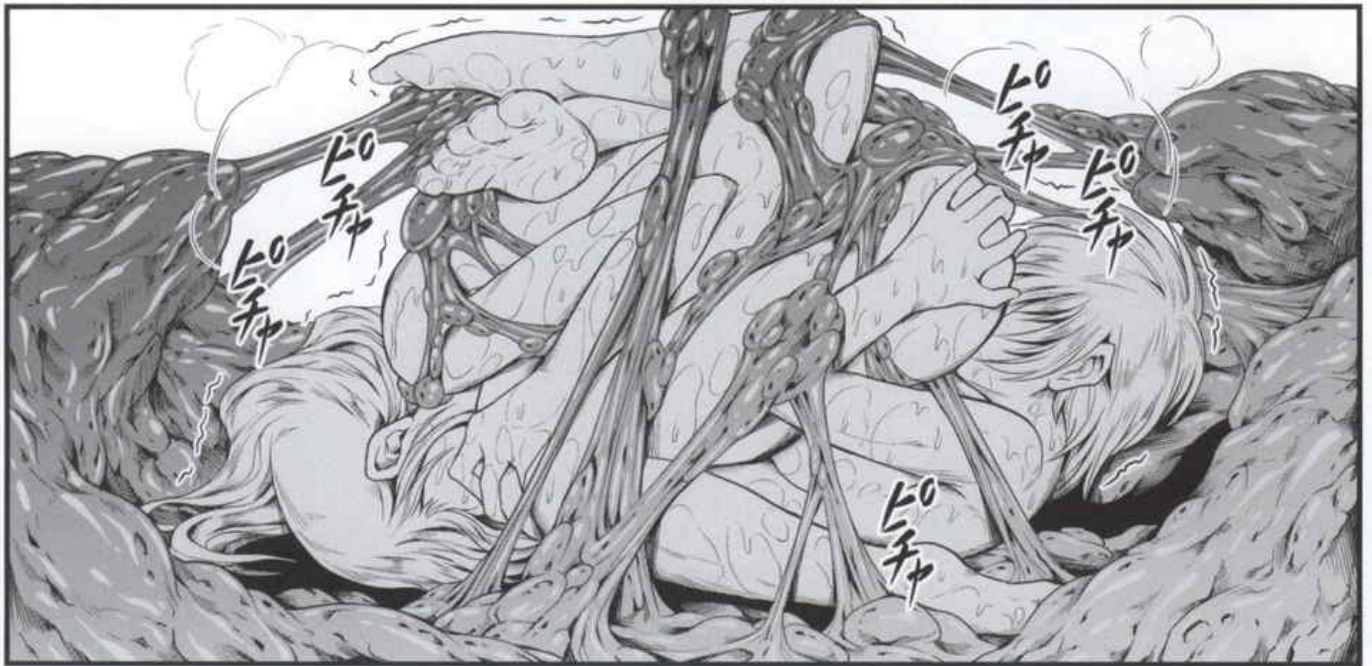
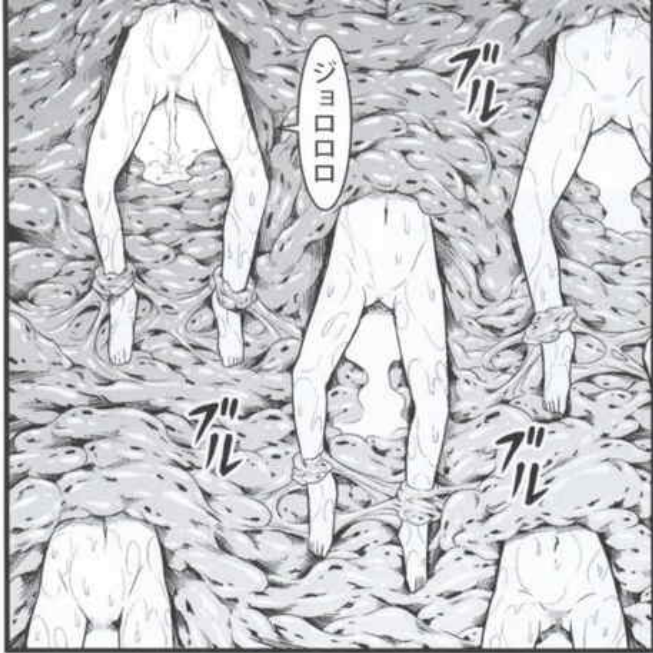


はあ

はあ

とにかく……
状況の把握……を……







なに!?

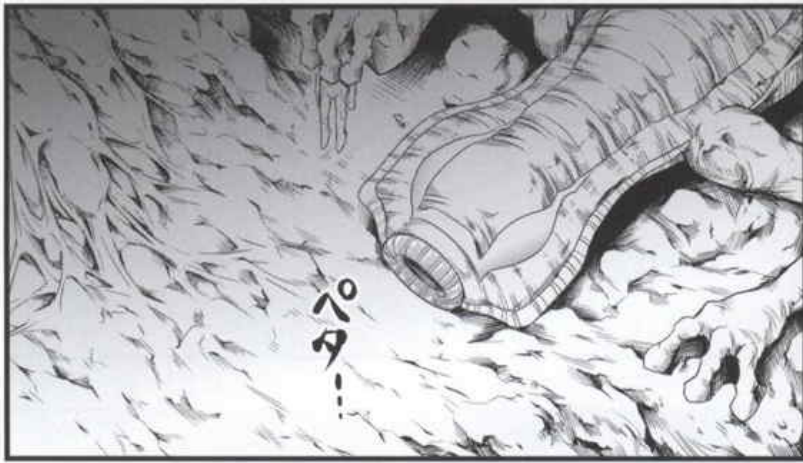


何だ
コレは!?

何なんだ
ここは!?



はっ!!







何だ？ コレに
座れという事か？



うわっ

クワイ



だがこの体力では
……どうする……
……どうする……

……どうする？
今なら逃げられ
るかもしれない……



ダッ



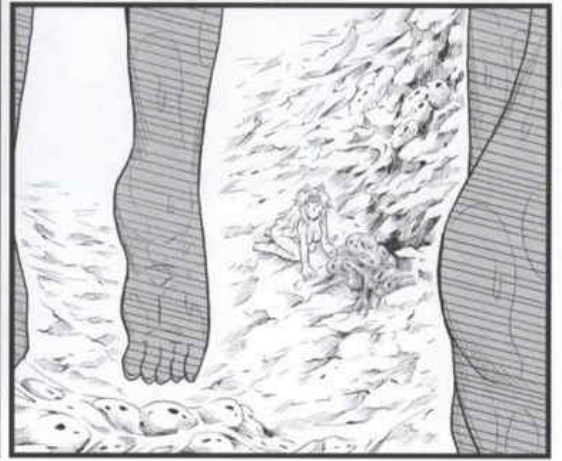
もう嫌あ！！







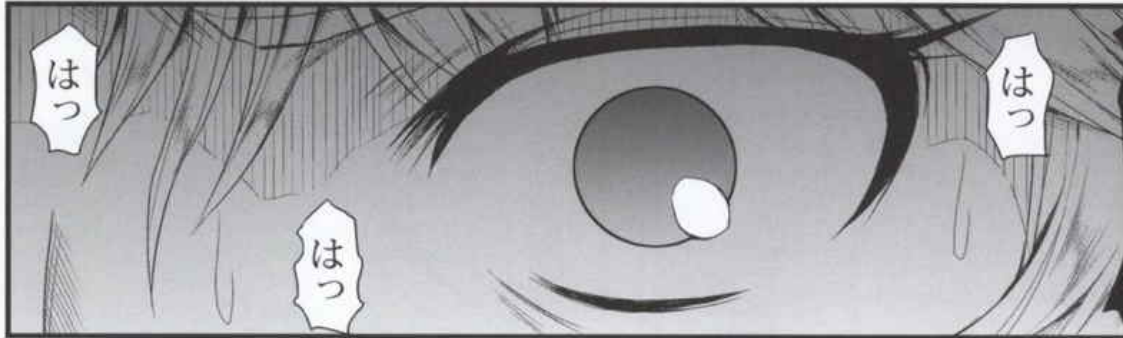




これは…見せしめだ……
 さっきの様子では恐らく
 脳はあの粘液に満たされている
 人としての思考は完全に死んで
 いるのだろう

それでも脳は快感を
 受け続け肉体は無様な
 姿をさらし続ける……
 人間としての死を迎えても
 体を利用されるのだ

思考が出来る
 人間共に恐怖を
 与えるために



はっ

はっ

はっ

……さからえない
 ああなったら終わりだ
 ……これに…座るしか……



ブル

ブル

ニユツ

ブル



座ったら……
 どうなってしまう
 うんだ……



ああ♡

ビク

快樂に墮とされた
牝の顔……

快感に服従した証として
惨めな顔を晒し
体中から悦びの汁を
垂れ流す

あへえ♡



おへ♡

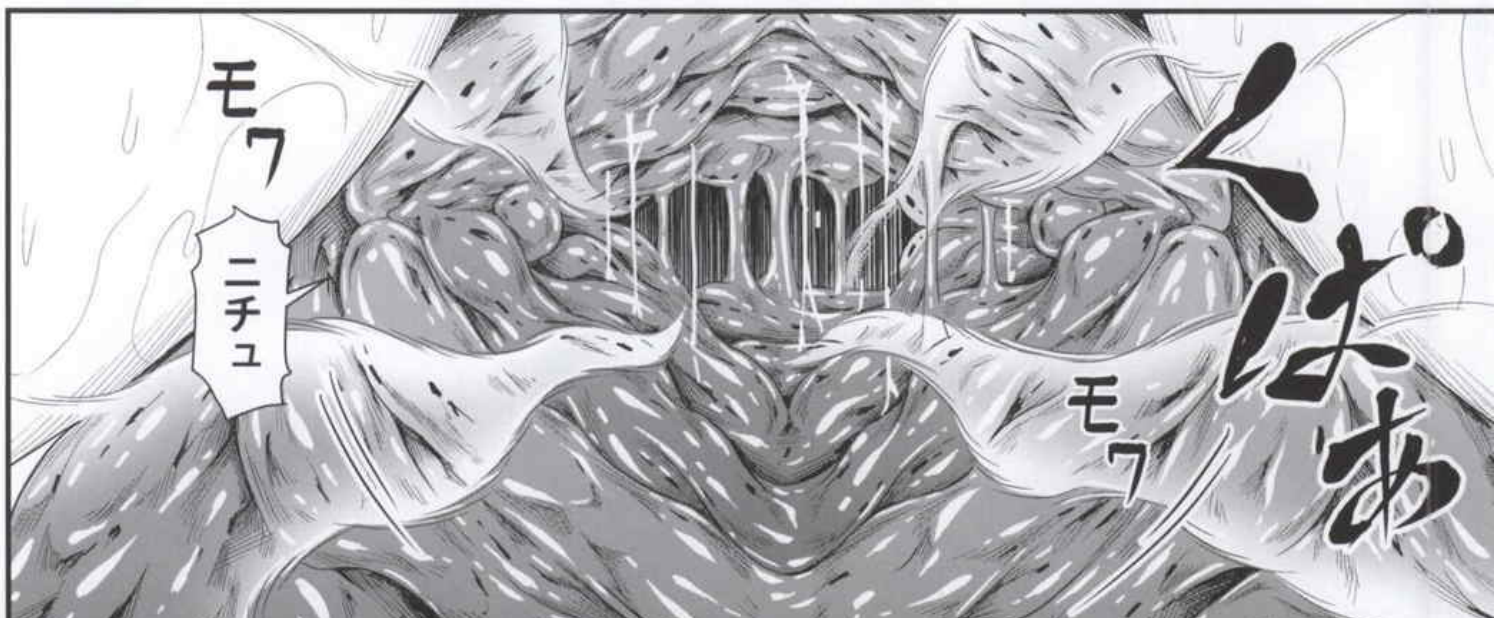
おっ♡

ビク

おへえ♡



これに座って
しまったら……
私も……



モワ

ニチュ

モワ

くはあ







くさっ

アッ

くさっ

アッ

くさっ

無理矢理絶頂させられる
暴力的な快感じゃない
どこまでも甘く優しい
心まで満たされていく快感……

柔らかい突起が性器の肉ヒダを
細部まで丁寧に愛撫してくる
優しく……優しく……



ハア

ハア

アッ

ハア

アッ

アッ



満たされるう♡

満たされ
ちやうう♡

ア♡

ちゅく♡

ちゅく♡

アン♡

アン♡

何て声を
出しているんだ
私は!?



クネ

ブチュ

クネ

ブチュ

無様に腰を擦りつけ
女の悦びをねだってしまった
……どうしてしまったんだ
……なぜ……こんな……



客に甘える
娼婦のような嬌声を
止められない

アン♡

ア♡

ボクン

ボクン

ボクン

アアン♡



あん♡

ハッ

あふん♡

あふん♡

ハッ



何を!?





グル

お...

ご...

グル

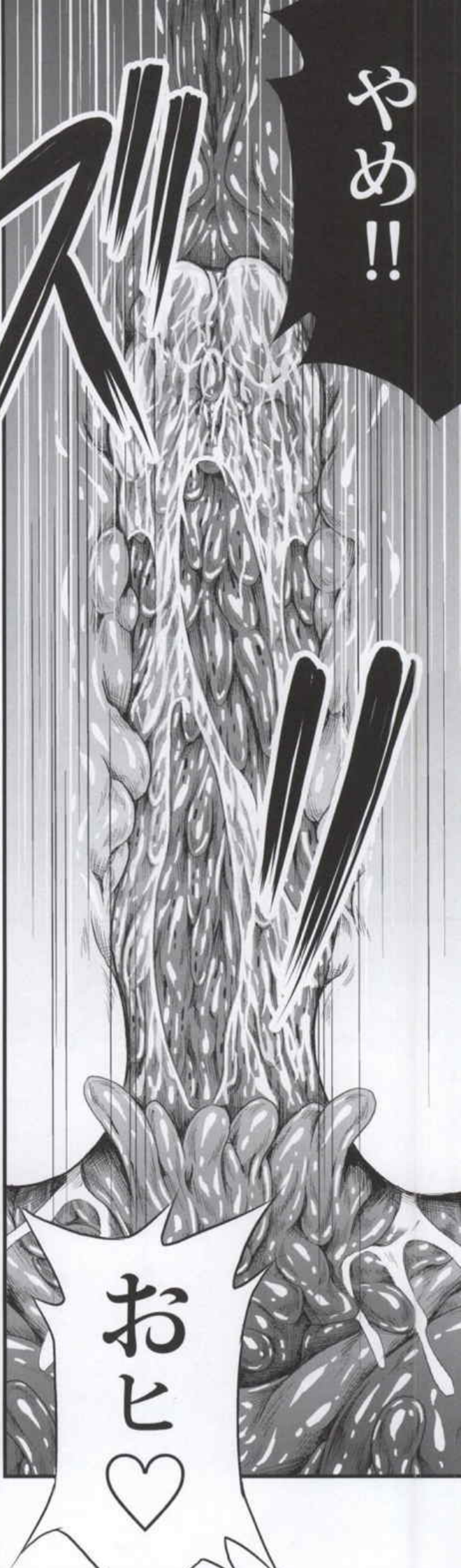
グル

か...

グル



やめ!!



おヒ♡



こんな……

なんで……
こんな……



こ……

イツ……たの……
……戻って……
……これ……ない……

ブル

お……

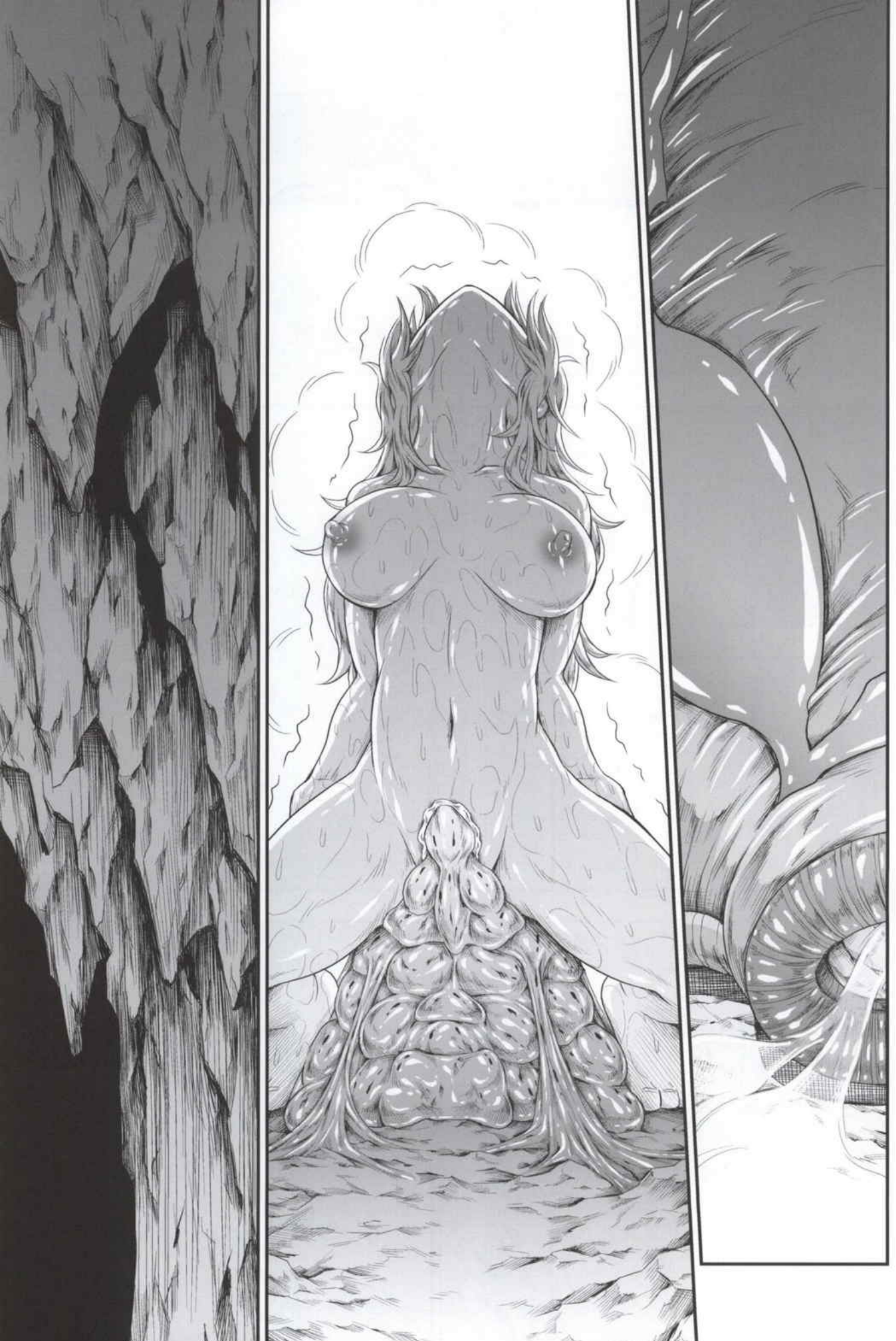
脳が……とけ……
……て……

ブル



い……い……

い……い……





いやー
洞窟があつて
助かったー

そうね



収納したのよ

うお!! 本当だ
リノプロが影も形も
無え!!



バーク

だいたい君が地図を
逆さまに見てるから
こんな事に!

仕方無いじゃん
「上」とか「下」とか
書いてねーんだもん

ちよつと待て!
何で服が元に戻つて
るんだ!?
君 さっきの鎧は
ドコにやったんだ!?



何よ
ビビってんの?

収納?
…四次元か

しかし…何か
嫌な気配が
するなこは



しゅわめ

びび



ち、違う! 私は幽霊が
怖いわけじゃ無いんだ!!

いやユーレイ
とかじゃなくて
何か居るでしょ
この洞窟

で、出るのか!?



うるさいわね
アンタは！
シャキツとしなさい！！

本物じゃない！！

本物の
幽霊なの！？



あ、コレ？
肉片と一緒に
あっちの方に
大量に落ちてたよ

何やってん
のよアンタ
て言うか何よ
その血のり

カ
カ

カ
カ



は！？

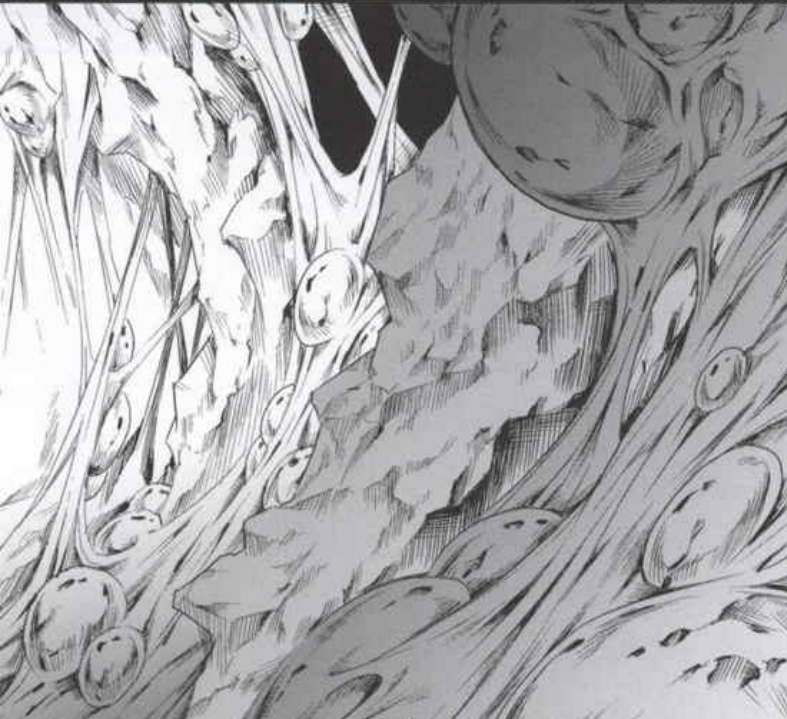
ゴメンよー
そこまで驚くとは
思ってた無かったん
だよー

少し探索して
みましよう
行くわよ

こ……腰が抜けて
……立てないんだ



血が乾いて
無いのなら近くに
殺った奴がいるわね



仕方ないわね
アンタおんぶしな
さい 行くわよ

え？







何だ!?これは!?

分からないが
男の射精に近いもの
なのかもしれない

ふんっ

ふんっ

ビキ

ビキ

乳首から粘ついた液体が
漏れ出すたびに未知の
快感が全身を包む



いったい...どうして
...しまったんだ...
私の...体は.....





改造されている!?

ギイギ達にとって
最良の餌を生成
できる体にな!?





で
射乳るろう



いったい
どうして？

いつの間に
私の体を？

おげっ

おげっ

おげっ

グッ

グッ

グッ



ムクムク

あっ

そ、そうか

あっ

こ、これだ
この液体だ

ムクムク

ムクムク

ムクムクムク

ブツ

ブツ



おほっ♡

おほおお♡



何度も子宮に
注ぎ込まれるこの液体

女の脳を悦びで支配し
肉体を改造していく



ほお♡

おほお♡

ほおお♡

人間の女に精子を
そそいでも受精など
しない

この液体は女を狂わせ
女を改造し、強い個体を
育てる為の『家畜』を
作る物なんだ

……だが
それが分かった
ところで何が
できる？



はぁ

出して！

はぁ

出してえ！！

はぁ

おっぱい漏らしながら
イギ狂う変態家畜に
改造じでええええ♡

はぁ

はぁ

改造じでえ♡
もっど改造じでええ♡



グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

はぁ



グッ

私の子宮にい
もっどっほぐぐぐ♡♡

ブ
ボ
ッ

ほ
お
♡

ウ
ホ
ッ

お
ほ
お
♡

ウ
ホ
ッ

ブ
ボ
ッ

ブ
ビ
ビ
ッ
ッ

ブ
ボ
ッ

ま
ん
ご
も
い
♡

ウ
ホ
ッ

お
っ
ぱ
い
で
イ
ギ
な
が
ら
お
ま
ん
ご
も
イ
グ
う
う
♡

ほ
お
お
お
お
お
♡
お
ほ
お
お
お
♡

う
ほ
お
お
お
お
♡
お
お
お
お
お
♡

ウ
ホ
ッ

ウ
ホ
ッ





うほう♡



ぢぐび
吸われえええ♡



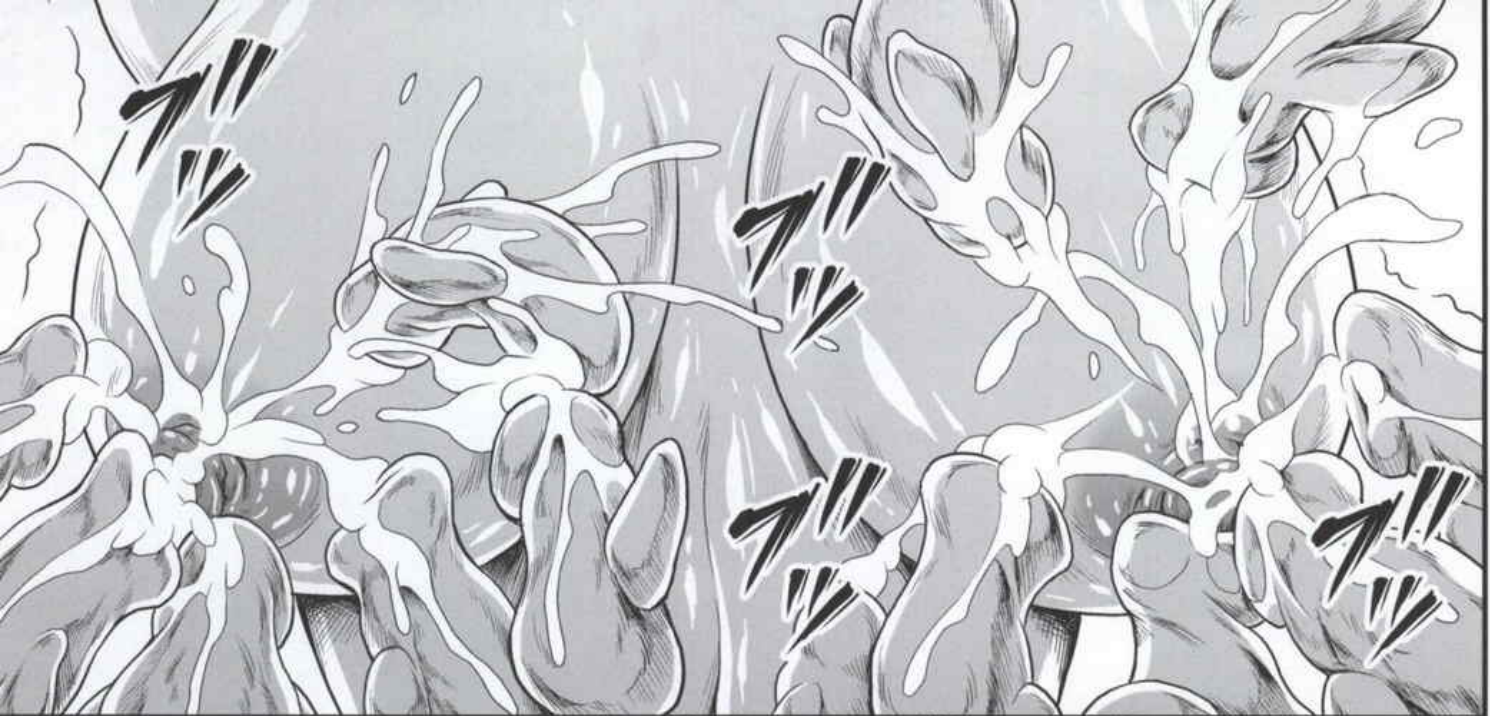
ごんなの
無理いいい♡

ぐるっ♡

ぐるっ♡



狂気
♡







TO BE CONTINUED

ソロハンターの生態 4

The third part



発行 YokohamaJunky

発行者 魔狩十織

発行日 2014.8.17

印刷 ねこのしっぽ

web <http://yokohamajunky.com/>

email mail@yokohamajunky.com

※この物語はフィクションであり、実在の人物団体及びギギネブラの設定と一切関係ありません
尚、18歳未満の閲覧、購読は禁止です

ソロハンターの生態 4

The third part



敗北し、蹂躪され、意識を失った女ハンターは
ギギ○ブラの巣に拘束され、目を覚ます。

彼女の眼前には巨大な巣と、捕らわれ狂わされた惨めな
ハンター達の醜態が広がっていた。

彼女に用意されたのは粘液を纏ったグロテスクな『椅子』
生贄の女達はその上で悦びの声をあげ、屈服の液体で自らの肌を濡らす。
逃げようとした女達は脳を冒され、永遠の快樂に肉体をふるわせるだけの
物言わぬオブジェにされていた。

逃亡のチャンスを窺うために女ハンターはその椅子に腰を沈める。
だが、その椅子は女を『強い個体を育てる為の餌を分泌出来る体』
に改造するための物だった。

至高の快樂に包まれながら変わりゆく女体、乳首からギィ○達の餌を噴き出しながら
彼女の意識は天国へと墮ちていく。



※本書は18禁です、18歳未満の閲覧は禁止です。

Yokohama Junky